

	取 組 状 況
教育	<p>カリキュラム改訂の年次進行に併せて、授業内容・方法を見直し、AL(Active learning)を取り入れるなど、授業改善を進めている。また、rubric評価を積極的に取り入れ、評価についての学生の信頼や学力の向上を図った。</p> <p>第2学年では基礎学力の定着に重心をおいた授業を展開するとともに、ALやディベート、グループ学習を導入することによって主体的・能動的・協同的な学びへの展開を図っている。専攻科では、将来、技術者として活躍できる言語表現力の育成をめざし、特に議論の技術向上に焦点化した授業を展開した。加えて「履修計画書」の執筆指導も行った。</p> <p>取り組みの成果としては、第2学年では授業目標・評価・展開についての周知が図られ、学生の課題であるコミュニケーション能力の向上に対する取り組み、基礎学力の定着に向けた取り組みを着実に実施することができた。特に、前後期に行ったディベートでは学生の能動的な参加が見られた。専攻科では、「履修計画書」自体を教材・授業内容に設定したことで学生の能動的な参加を実現し、相互評価という授業形態により、学生の文章力、議論する力を向上させることができたと考えている。授業時間以外でも学生の質問や添削に丁寧に対応した。</p>
研究	<p>(研究論文等)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.【単・論文】「ビールが飲みたいような気分―沈黙（村上春樹）の〈小説〉性」（『日文協国語教育』第43号，2016.12，pp17～35） 2.【共著】『精選国語総合改訂版』（三省堂，2017.3.30）※検定教科書 3.【共著】『高等学校国語総合改訂版』（三省堂，2017.3.30）※検定教科書 4.【単・教材研究】「アクティブ・ラーニングのために（「羅生門」）」（『精選国語総合改訂版 指導資料①』三省堂，2017.3.30 pp109～111）他，5点。 <p>(学会発表)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.「ビールが飲みたいような気分―沈黙（村上春樹）の〈小説〉性」（日本文学協会国語教育部会拡大例会，拓殖大学，2016.5.22） 2.「『鳥よめ』という戦略―ポスト「風化」の時代における戦争児童文学の可能性―」（第3回あまきみこ研究会，都立産業技術高専，2017.2.26）
社会貢献	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成28年度オープンカレッジ（公開講座）「中学生のための小論文講座」のコーディネータを務め、9月17日（土）、18日（日）、24日（土）、25日（日）の4日間、計12時間の講座を開催した。この講座は、小論文を書くための基礎的事項を学びながら、実際に高校入試で出題された小論文問題を用い、「文章提示型小論文」「図表提示型小論文」「テーマ提示型小論文」の3つの形式について学習する。受講生が書いた小論文は、講師が個別添削指導をしたうえで返却するというものである。 2. NHK高校講座（「国語総合」）に講師として出演した（計17回。平成28年度は再放送）。表現分野を中心に担当し、音声だけで伝えるというラジオの特性を考え、通信制高校の生徒に理解しやすい説明を心がけた。また、本校の学生にゲスト出演してもらうなどして、よりリアルな授業になるよう工夫した。 3. 日本文学協会の委員、あまきみこ研究会事務局長等、学会・研究会の運営にかかわった。